

令和 6 年度

第 1 回 宮崎市総合計画審議会 議事録

令和6年度 第1回 宮崎市総合計画審議会 議事録

1 日時 令和6年5月1日(水) 14時00分～15時15分

場所 宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー

2 出席委員

第1号委員 淡野 公一、勢一 智子

第2号委員 坂根 登

第3号委員 有田 秀明、米良 充典、佐山 幸二、永野 貴士、
吉岡 英明、樋口 由香、山北 雄大、長友 孝平

3 議案の内容

(1) 報告事項

①令和5年度第3回宮崎市総合計画審議会の書面協議結果について

②地域協議会への意見聴取について

③パブリックコメントの実施について

(2) 協議事項

①第六次宮崎市総合計画における基本構想(素案)について

②第六次宮崎市総合計画における基本計画(素案)について

4 審議の経過及び結果

経過 : 別紙 議事録のとおり

結果 : 第六次宮崎市総合計画における基本構想(素案)及び基本
計画(素案)について了承

議事録署名人

永野 貴士

長友 孝平

【総合政策部長（宮崎市）】

皆様、大変お疲れ様でございます。

ただいまから、令和6年度第1回宮崎市総合計画審議会を開催いたします。

私は本日の進行を務めさせていただきます、総合政策部長の袈裟丸でございます。4月の人事異動で総合政策部長を拝命いたしまして、本審議会は初の参加となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日は、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、宮崎市総合計画審議会条例第5条第3項の規定によりまして、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは開会にあたりまして、清山市長がごあいさつ申し上げます。

【清山市長（宮崎市）】

本日は大変お忙しい中、本審議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。私は今日喉を痛めていまして、マスクをしながらの参加をお許しいただければと思います。

今回、基本構想、そして総合計画の審議等ございますが、本市が大正13年に発足してから、100年の記念の年でございます。宮崎市制100周年記念ということで、様々な企画を用意しておりますけれども、本市の100周年をただお祝いするというだけではなく、宮崎市を取り巻く環境、人口減少をはじめとして次の100年を見据えたときに、果たしてお祝いムードだけでいいのかという思いもしております。

今後、少子高齢化も進行する中で、大変厳しい時代を迎えていくことは、確実に予想可能な未来でございますし、本市が本市らしさを生かしながらどんなまちづくりを進めていくべきなのか、そこを真剣に考えていかなければいけない、そうした年にしてまいりたいと考えております。

本日午前中に取材を受けながら、そのような声も受けていたのですが、やはり本市が今後人口が縮小していく中で、どのように経済活力を維持していくのか、また、子供たちの教育からお年寄りの介護福祉体制までどのように維持していくのか、そのためにはやはり内向きな視

点だけではどうにもならない、外に活路を見出していくしかないと思っております。

宮崎市の100年の歴史の中でも、多くの市外の方々がこの宮崎市に定住して、まちづくりに貢献してくださってきたように、これから宮崎市も、そうした交流人口、関係人口、定住人口などございますけれども、外に開かれて、かつ、活力あるまちづくりを進めていきたいという思いを持っております。

基本構想や総合計画に落とし込むとなると、やはり行政の作る計画ですので、やや堅苦しいものになってしまいますが、どうか皆様からは忌憚のないご意見を賜ることをお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

【総合政策部長（宮崎市）】

ありがとうございました。

本日は、昨年度末で任期満了となった委員の皆様の改選後、初めての会合となりますので、本来であればご出席の皆様をご紹介し、辞令交付させていただくところでございますが、時間の都合もございますことから、新たにご就任いただいた委員の方のみご紹介をさせていただければと思います。

一般社団法人宮崎県銀行協会常務理事兼事務局長の永野貴士様でございます。今回より、会長の杉田様から永野様に変更となっております。

<あいさつ（永野委員）>

その他の委員の皆様のご紹介につきましては、端末内の出席者名簿の配付をもって代えさせていただきたいと思っております。

委員の皆様、どうぞよろしく願い申し上げます。

辞令につきましては、机の上に置かせていただいております。恐れ入りますが、ご了承いただけますと幸いです。

また、宮崎市の出席者でございますが、本日は清山市長、帖佐副市長、永山副市長が同席させていただいております。

なお、本日の会議では、お手元のパソコン端末を用いたペーパーレスでの会議として進行させていただきます。

それでは、次第に沿って進行いたします。

始めに、次第2の「会長・副会長の選任」でございますが、宮崎市総合計画審議会条例第4条第1項の規定に基づきまして、会長及び副会長の選任をお願いしたいと思います。

規定では、委員の皆様の互選となっておりますが、いかがでしょうか。

【佐山委員（社会福祉協議会）】

事務局に考えがあれば、ご提案いただけたらと思います。

【総合政策部長（宮崎市）】

ありがとうございます。委員の皆様のご異論がなければ、事務局案をご提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

ありがとうございます。それでは、事務局案をご提案させていただきたいと思います。

会長には、宮崎大学学長特別補佐兼副学長兼研究・産学地域連携推進機構副機構長の淡野委員に、副会長には、株式会社宮崎日日新聞社経済部長の樋口委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。

<異議なし>

ありがとうございます。

それでは、淡野委員、樋口委員、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、規定に基づきまして、ここからの進行は、淡野会長にお願

いできればと思います。

淡野会長、どうぞよろしく願いいたします

【淡野会長（宮崎大学）】

ただ今ご紹介いただきました宮崎大学の淡野でございます。委員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、規定に従いまして、これから私が議事を進めさせていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、3月に実施しました本審議会の書面協議の結果、それから地域協議会での意見聴取等について事務局から報告いただいた後に、第六次宮崎市総合計画の基本構想及び基本計画のご協議をいただきたいと思っております。

皆様どうぞ忌憚のないご意見をいただければと思います。

委員の皆様から活発なご発言を賜りたいと考えておりますので、円滑な進行に向けまして、皆様の御協力をお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の会議録署名委員2名を私の方で指名させていただきたいと思っております。本日ご出席いただいております委員の中から、永野委員と長友委員にお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

< 異議なし >

どうぞよろしく願いいたします。

それでは、端末内の議事次第をご覧ください。本日は報告事項が3件、協議事項が2件となっております。

まずは、次第3の報告事項の(1)「令和5年度第3回宮崎市総合計画審議会の書面協議結果」について、事務局から説明をお願いします。

【企画政策課長（宮崎市）】

それでは、資料1をお開きください。

報告事項の（１）令和５年度第３回宮崎市総合計画審議会の書面協議結果について説明いたします。３月２１日に予定していた審議会につきましては、出席人数が過半数に満たない状況となったことから、書面にてご協議をお願いしたところでございます。

委員の皆さまにおかれましては、年度末のお忙しい中、また、短い期間にも関わらず、ご協力を賜りまして、ありがとうございました。

それでは、１ページをご覧ください。書面協議の概要でございます。期間は令和６年３月２１日から４月２日までとさせていただきます。報告事項１件「子どもへのアンケート実施結果」、協議事項２件「基本構想（素案）及び基本計画（骨子案）」についてご意見を伺ったところでございます。その結果でございますが、全１４名の委員のうち、６名から「意見あり」との回答をいただいております。

その内訳といたしましては、表のとおり、基本構想（素案）に関して、５名から１５件、基本計画（骨子案）に関して、５名から６件の意見をいただいております。

続きまして、２ページをご覧ください。意見の内容でございますが、基本構想（素案）に関しましては、「第２章 将来の都市像と目指すまちの姿」に関するご意見が一番多いという結果でございます。

また、基本計画（骨子案）に関しましては、「第１章 計画体系と横断的な視点」に関するご意見が一番多いという結果でございます。

それでは、３ページをご覧ください。３ページ以降につきましては、内容別にご意見を掲載しております。左側が意見をいただいた箇所、右側が審議会委員の意見でございます。なお、左側のご意見をいただいた箇所は、書面協議時点の資料の該当するページを掲載しております。時間の都合もございませうことから、主なものをご説明いたします。

まず、全体に関するご意見が２件でございます。２ポツ目、吉岡委員から、基本構想において用いている「目指す」の漢字表記についてご意見をいただいております。

ご意見を踏まえまして、表現上の配慮として、平仮名の「めざす」に統一する方向で修正しております。後ほどの「次第４」の「協議事項」

にてご確認いただきます。

続きまして、4ページをご覧ください。勢一委員から、将来推計人口につきまして、合併前につきましても、比較のために合併市町の合計値を示すべき、高齢化率のグラフを重ねるなどその後続く内容に繋げる工夫ができるとよいとのご意見をいただいております。ご意見を踏まえ修正を加えておりますことから、後ほど協議事項にてご確認いただきます。

続きまして、5ページをご覧ください。長友委員から、人口減少に柔軟に対応するための体制や仕組の構築が必要とのご意見をいただいております。体制や仕組の部分につきましては、「基本構想」をもとに現在検討中でございます「基本計画」の部分となろうかと考えております。ご意見を踏まえまして、基本計画策定に当たりたいと考えております。

続きまして、6ページをご覧ください。1ポツ目でございますが、山北委員から、子ども食堂などに関するご意見をいただいております。基本構想において、従来の「地縁」に基づくコミュニティのほか、子ども食堂などを念頭にした「テーマ型」のコミュニティについても言及しているところであり、山北委員のご意見を踏まえまして、具体的な取組については「基本計画」の部分で、ご意見を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

続きまして、7ページをご覧ください。1ポツ目でございますが、山北委員から、「経済の姿」に関しまして、本市が現在推進しております「まちなか投資倍増プロジェクト」による規制緩和、民間開発の促進を踏まえまして、「若者」や「街の魅力創出」の観点から、「ゲームなどのクリエイティブ産業を誘致すべき」とのご意見をいただいております。

次に、2ポツ目でございますが、長友委員から、市民のまちづくりへの意識の希薄化や、民間委託による地元経済の活性化、市民サービスの向上などについてのご意見をいただいております。

これらのご意見を踏まえまして、基本計画の策定に当たってまいりたいと考えております。

続きまして、8ページをご覧ください。1ポツ目でございますが、勢

一委員から、ジェンダーギャップに関しまして、本市の現状や課題感を記載すべきとのご意見をいただいております。ジェンダーギャップに関する本市としての課題感につきまして、追記をしておりますことから、後ほど協議事項にてご確認いただきます。

続きまして、9ページから11ページまでのご説明は割愛させていただきます。ご意見を踏まえまして、基本計画策定に当たりたいと考えております。

続きまして、12ページをご覧ください。12ページからが基本計画に関するご意見でございます。1ポツ目でございますが、「横断的な視点」につきまして、淡野会長から、「視点2」のDXにかかる表現について、ご意見をいただいております。ご意見を踏まえ修正を加えておりますことから、後ほど協議事項にてご確認いただきます。

次に、2ポツ目でございますが、吉岡委員から、「稼ぐ市役所」に関するご意見をいただいております。本市といたしましては、人口減少に伴い税収も減少見込であることから、歳入確保の観点は重要だと考えており、「稼ぐ市役所」という表現につきましては、存置したいと考えております。

続きまして、13ページをご覧ください。1ポツ目でございますが、(公募の)山北委員からは、「稼ぐ市役所」ではなく「稼ぐ宮崎市」を目指すべきとのご意見をいただいております。本市といたしましては、「稼ぐ宮崎市」として歳入確保の視点を重視する一方で、山北委員のご意見のように「産業振興」や「雇用創出」などの経済政策の強化も非常に重要だと考えておりますことから、ご意見を踏まえ、経済分野の政策・施策の検討を進めてまいりたいと考えております。

「稼ぐ市役所」に関しまして、2件のご意見をいただいておりますが、後ほどの協議事項において、ご意見等がございましたらご議論いただきたいと考えております。

次に、2ポツ目でございますが、長友委員からSDGsに関する意見をいただいております。ご意見を踏まえまして、本市の取組と、市民一人一人が何をできるのかイメージできるような内容となるよう、検討してま

いりたいと思います。

続きまして、14ページをご覧ください。勢一委員から、KPIについて効果的・効率的なフォローアップが可能な体制を目指すべきとのご意見をいただいております。勢一委員ご意見のとおり、個別計画との整合による効果的かつ効率的なフォローアップは重要だと考えております。一方で、個別計画に掲載されるような、いわば細かな指標をどこまで総合計画のKPIとすべきかにつきましては、精査が必要であると考えておりますことから、今後、ご意見を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

続きまして、15ページ以降でございますが、いただきましたご意見を委員別にまとめ直したものでございますことから、説明は割愛いたします。

審議会における書面協議結果のご報告は以上となりますが、ご意見を踏まえた修正等は、「次第4」の協議事項の部分で協議いただきます。

なお、今回、直ちに反映できなかつたご意見もございますが、ご趣旨を踏まえまして、今後、基本計画の策定に当たってまいりたいと考えております。

ご説明は、以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただいま、事務局から説明がありました「令和5年度第3回宮崎市総合計画審議会の書面協議結果」について、委員の皆様方からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

<質問、意見なし>

特にございませんでしょうか。

それでは、特にご意見がないということで、修正をかけたものを後ほど協議いただきますので、またそちらの方で活発なご議論をいただければと思います。

それでは次に、報告事項の(2)「地域協議会への意見聴取」について、事務局から説明をお願いします。

【企画政策課長（宮崎市）】

それでは、資料2をお開きください。

報告事項の(2)基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見につきましてご説明いたします。

それでは、1ページをご覧ください。「概要」でございます。2月下旬から4月下旬にかけて、本市の22地域自治体の地域協議会に対しまして、基本構想（素案）をご説明したところでございます。なお、説明の際には、地域別の将来推計人口につきましても合わせてお示ししたところでございます。その結果でございますが、10の地域において19名から22件のご意見をいただいております。

続きまして、2ページ以降につきましては、地域別にいただいたご意見と、その場で企画政策課から回答いたしました内容を掲載しております。お時間の都合もございますことから、主なものをご説明いたします。

それでは、2ページをご覧ください。中央東地域協議会からは、五次総合計画をどのように捉え評価し、六次総合計画を策定していくのかのご意見をいただいております。こちらのご意見でございますが、毎年、施策評価として、外部会議において前年度の各施策の実績を評価していること、五次総につきましても審議会や専門部会における議論を踏まえ、また地域協議会への説明やパブコメ、市議会の議決を経て策定した計画でございましたが、計画期間中に新型コロナウイルス感染症の感染拡大やデジタル技術の進展等の社会情勢の変化が生じたこと、目標値を大幅に超える実績を出している施策がある一方、自治会加入率などは減少傾向が続いており、さらに毎年実施している市民意識調査の結果では、重点項目毎の市民満足度は全体的に低下していることなどを踏まえ、時代の変化とともに、抜本的な見直しが必要となった計画であると捉えており、それらの状況や見直すべき事項を踏まえ、次の六次総の策定にあたっていただいているところである旨、その場でご回答したところでございます。

続きまして、3ページをご覧ください。小戸地域協議会からは、移住施策に力を入れるべきとのご意見をいただいております。

続きまして、4ページから5ページをご覧ください。大塚台地域協議会からは、将来推計人口や少子化対策、子育てしやすい環境づくり、首都圏との賃金格差に関するご意見をいただいております。

続きまして、6ページをご覧ください。小松台地域協議会からは、1ポツ目のとおり、将来推計人口について、何らか施策を打った場合の推計モデルを示すべきとのご意見をいただいております。次に、2ポツ目でございますが、先ほどの小戸地域と同様に、移住施策に関するご意見をいただいております。

今回、地域協議会からいただいたご意見につきましては、基本計画の各施策に紐づく事業ベースのご意見もございますことから、ご意見を踏まえながら、今後の基本計画策定に当たってまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

【淡野会長】

ありがとうございました。

ただいま、地域協議会への意見聴取について説明をいただいたところでございますが、本件に関しまして何か質問やご意見等ございませんでしょうか。

<質問、意見なし>

【勢一委員（西南学院大学）】

今回の地域協議会からの意見聴取ですけれども、住民の生活に根差した声を拾って、総合計画に加えていくというのは非常に重要な機会ではないかと考えております。

しかしながら、今回意見があったのが10地域、意見なしが半数以上の12地域になっています。自分たちのまちの将来に対して意見がないとい

うのは、いささか不思議な感じがするのですが、これはどのような形で意見聴取されたんでしょうか。もしかしたら書面という形で意見聴取されたのであれば、意見表明しにくい部分があると思ったものですから、意見がなかったところについて、経緯や事務局が考える原因などありましたら教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【企画政策課長（宮崎市）】

地域協議会への意見聴取につきましては、企画政策課の職員が2月下旬から4月下旬にかけて、直接地域協議会に出向きまして、基本構想の部分をワンペーパーにさせていただきご説明をいたしました。また各地区ごとの今後の人口の推移等をお示しして説明をしたところでございます。

確かに、地域協議会によって温度差がございました。危機的な意識を持たれた方や、「開かれた」宮崎市ということで、外国人の多文化共生などに対するご意見をいただいた協議会もございます。時間の関係等もございましたので、その場で意見が出なかったというところもございます。

パブコメ等もご案内をしていたところもございますので、一概にその場で意見がなかったからといって、全く無関心というようなことではなかったと感じているところでございます。

【宮崎市長（宮崎市）】

大変重要なご指摘だと思うのですが、この地域協議会というのは、かなり宮崎市独特な組織、制度でございまして、今年度いっぱい、この地域協議会、地域自治区制度は廃止予定にしています。地方自治法に基づく行政の附属機関として、市内にこれだけの場所に地域協議会を置いています。そして、我々はこうした総合計画などを説明をしなければいけないということで職員が一生懸命、20ヶ所ほど回っていくのですが、やはり皆さん、非常に堅い雰囲気の中で臨まれるものですから、市民の皆さんもカジュアルに市民の意見を出しにくい雰囲気も、現場をご覧になられると分かるかと思えます。

果たして、この地域協議会が本来我々が期待していた役割をちゃんとうまく機能して果たしているかと言われますと、様々な問題が出てきたものですから、今後はちょっと制度を変えていこうと思っているところでございます。委員のおっしゃるとおり、本来はここで多くの市民の意見が出てしかるべきだろうと思います。

【勢一委員（西南学院大学）】

ありがとうございました。

この地域協議会自体の現状といいますか、また今後制度を変える予定とのことですので、そのような意味では少し力が入らない住民の皆さんがいらっしゃるのかとも少し感じたところでは。

おそらくどこの地域も、自治会など地域を支える伝統的な組織が高齢化しているという課題があって、やはり若い人の声をどのように取り入れていくかというところは、工夫が必要になっているのだろうと思います。

この総合計画については、まだ間に合いますので、ぜひパブコメの機会なども活用していただいて、場合によっては地域ごとの説明会という形で若い人も入れるような気軽な雰囲気、何か工夫をして、少しでも次世代の意見を取り入れていただくことをしていただければと思います。

【淡野会長（宮崎大学）】

他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

<質問、意見なし>

それでは、今の説明にございましたパブコメについて、報告事項（3）という形で事務局から説明いただきたいと思っております。

【企画政策課長（宮崎市）】

それでは、資料3をお開きください。

報告事項の(3)パブリックコメントの実施について簡単にご説明いたします。

資料の赤字部分のとおり、4月3日から5月7日の約1か月間、基本構想(素案)に関するパブリックコメントを実施しております。本市のホームページから、ロゴフォームによる回答ができますほか、各総合支所、地域センター等で閲覧が可能です。

次回の審議会では、パブリックコメントの集計結果と、寄せられたご意見に対する対応案などをお示ししたいと考えております。

説明は、以上でございます。

【淡野会長(宮崎大学)】

ありがとうございました。

パブリックコメントの実施について、何かご意見、ご質問等ございますか。

<質問、意見なし>

ありがとうございます。

それでは報告事項3件が終わりましたので、続きまして、次第4の協議事項に進みたいと思います。まず、協議事項の(1)です。「第六次宮崎市総合計画における基本構想(素案)」について、事務局から説明をお願いします。

【企画政策課長(宮崎市)】

基本構想(素案)につきましては、資料が2つございます。

資料4が概要版、資料5が本編となっておりますが、本日は資料5の本編を使ってご説明いたします。それでは資料5をお開きください。

1ページをご覧ください。書面協議からの修正箇所を赤字にしております。書面協議にていただいたご意見のほか、専門部会委員からのご意

見、庁内検討の結果を踏まえまして、修正をしております。修正箇所を中心に説明いたします。

続きまして、2ページをご覧ください。吉岡委員のご意見を踏まえ検討いたしまして、「目指す」という表現はすべて平仮名に変更しております。

3ページ目と4ページ目につきましては割愛いたします。

続きまして、5ページをご覧ください。勢一委員のご意見を踏まえまして、長期的な人口の推移・推計を示すグラフにつきまして、合併前の部分については、オレンジの点線のとおり、旧4町の人口を足し合わせた折れ線グラフを追記し、本市の高齢化率について追記しております。

6ページから8ページまでは割愛いたします。

続きまして、9ページをご覧ください。「将来の都市像」の導入部分について、庁内における議論を踏まえ、若者だけではなく多くの人々から選ばれるまちといった内容を追記しております。

10ページと11ページは割愛いたします。

続きまして、12ページをご覧ください。「めざす姿1 経済の姿」の「(2) 地域経済の好循環を促し、外貨を稼ぐ取組の推進」に関しまして、庁内検討を進める中で、本市がこれまで推進してまいりました「食」や「自然」「スポーツランドみやざき」といったフレーズを盛り込むべきとの議論があり、このような表現を追記したところでございます。特に「スポーツランドみやざき」については、施設環境面だけではなく、例えばプロ野球などでの「人脈」などソフト面でのこれまで培ってきた強みにつきましても、重要であると考えているところでございます。

続きまして、13ページをご覧ください。「目指す姿2」の「課題・背景」でございしますが、「(1) 価値観の多様化」の2段落目に、勢一委員のご意見を踏まえ検討いたしまして、世界における日本のジェンダーギャップ指数の低さ、格差が大きい状況に加えまして、本市における課題感といたしまして、「男女の地位が「平等」であると感じている市民の割合」の低さを追記しております。次に、「(2) 医療・福祉・介護への影響」につきまして、庁内での検討を踏まえ、「課題・背景」の内容に適した表

題に変更したほか、内容につきまして、医療費や介護費の増加と、医療、福祉、介護サービスへの需要が増加する一方で、生産年齢人口の減少に伴い、サービスを支える人材の不足がますます深刻化することを追記しております。

続きまして、14ページをご覧ください。13ページの修正に伴い、「(2)」の表題につきまして「医療・福祉・介護体制の充実」と修正しております。また、内容につきまして、「人材確保」の観点のほか、人材不足を補うためのデジタル技術の活用など、「生産性向上につながる取組」につきましても推進すべきとの考えで、文言を追記しております。

15ページと16ページは割愛いたします。

続きまして、17ページをご覧ください。「(5) ゼロカーボンシティの実現」につきまして、これまで「脱炭素」や「ゼロカーボン」、「二酸化炭素排出量実質ゼロ」など、同義の表現を用いて、「脱炭素」という表現に統一させていただき、「ゼロカーボン」につきましては、「ゼロカーボンシティみやぎ」と固有名詞的に用いたいと考えております。

続きまして、18ページをご覧ください。専門部会委員のご意見を踏まえ、将来の都市像の実現のために、なぜ将来の都市構造として3つの方向性を示すのかといった趣旨を追記しております。

また、都市計画マスタープランの改訂議論に合わせ今後更新予定でございますことから、仮置きとなりますが、多拠点ネットワーク型コンパクトシティの概念図を掲載しております。こちらのイラストのデザインなどにつきましても、デザイン検討の中で今後更新予定でございます。

続きまして、19ページをご覧ください。将来の都市構造図についても仮置きしております。こちらにつきましても、都市マス改訂に合わせまして、今後更新予定でございます。

20ページは割愛いたします。

続きまして、21ページをご覧ください。専門部会の根岸部会長から、なぜ公民連携を推進すべきなのか、動機づけとなるような、理念的なものをしっかりと補足すべきとの意見をいただいていることから、追記しております。

説明は、以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただいま、事務局から、「第六次宮崎市総合計画における基本構想（素案）」について説明をいただいたところでございます。

本日は、先ほど報告事項にございました書面協議や、地域協議会からの意見を踏まえて修正を加えたものとなっております。この素案ですけれども、9月の定例会への議案提出を予定しているということでございますので、本日の審議会の後は、次は7月の審議会で答申をさせていただくことから、皆様からご意見をいただく場も残り少なくなっております。是非この機会に様々な意見をいただきまして、修正がかけられたらと思っております。どうぞ忌憚のないご意見を賜ればと思っております。

それでは、ただ今の事務局からの説明につきまして、委員の皆様方から、ご意見やご質問等はございましたら、よろしく願いいたします。

いかがでしょうか。特にございませんでしょうか。先ほど報告事項で各委員からのご意見もあったかと思えます。ご意見を踏まえ修正されているかと思えますけれども、そこを今一度ご確認いただければと思えます。

いかがでしょうか。手を挙げていただいた委員は順番に伺います。

【佐山委員（宮崎市社会福祉協議会）】

読み込みがまだ足りないのかもしれないのですが、「めざすまちの姿」に子育て支援等が入っているようですが、高齢者に関する記載が若干足りないのではないかという気がしております。もちろん高齢者に対する公費補助、これはもう十分されていると思うのですが、何か将来、高齢者も安全に、安心して暮らしていけるまちを目指すような視点があるといいという気がいたします。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございます。事務局の方から何かございますか。

【企画政策課長（宮崎市）】

確かに、将来担う若者という視点が強い内容となっておりますが、当然、高齢者につきましても、13ページの「めざす姿2（ひとの姿）」の「多様性を認め、互いに支えあう みんなに開かれているまち」の中で、まず、「課題・背景」として「高齢者や障がい者、性的少数者、外国人居住者をはじめ、多様な市民がその置かれた環境により、孤立したり、地域社会での生きづらさを感じています」と指摘をさせていただいた上で、次のページの「方向性」にて「誰もが暮らしやすく、持続可能なまちづくり」として、市民が安心して暮らしていけるように「地縁型だけではなくテーマ型などの新たなコミュニティによる市民活躍の場を含め、持続的なまちづくり体制構築に努めていきます」と記載しており、対応はしているということと、基本構想ではなく基本計画の中で、高齢者の雇用、健康寿命の延伸など、そのあたりのところをしっかりと入れ込んでいきたいと考えているところでございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

佐山委員、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【佐山委員（宮崎市社会福祉協議会）】

はい。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございます。それでは、勢一委員お願いします。

【勢一委員（西南学院大学）】

ご説明ありがとうございます。私が書面協議で提出した部分についてもいろいろとご検討いただきましてありがとうございます。

特に、人口推計のグラフは高齢化率と一緒に見ていただくと、やはり同じ人口であっても、その構成が大きく違ってくることを市民の方も実感しやすいかと思います。この中に書かれていますように、人口減少だけが問題なのではなく、その構造が変わって社会を支える生産年齢人口が減るというところが非常に悩ましいというところになります。ここをどうやってカバーしながら、この先より豊かなまちにしていくかというのが、まさに課題なのだろうと思います。

地域協議会からも移住に関する意見が出ておりますが、確かに移住施策はいろいろな自治体に取り組んでいて、重要な施策の一つであると思いますし、宮崎市はいろいろな意味でアドバンテージがある地域だと思います。ただし、移住施策というものは、地域で人を取り合うというような、争奪戦になってしまう部分があります。移住だけでは、おそらく対応ができないということでもありますから、ぜひ社会増の中で、外国人に対する対応、例えば多様性を受け入れる市民の意識づくりや、それを受け入れる都市の環境づくり、あとは市長のお話にもありましたけれども関係人口をいかにこれから宮崎市が生かしていくか、人口増というよりは人口増の効果を持つような施策について、ぜひ具体的な方法を盛り込んでいただける方向になるとありがたいと思いました。

もう1点、もしかしたら基本計画でご検討いただくのもいいかと思うのですが、少しだけコメントをさせていただければと思います。具体的には17ページです。ゼロカーボンシティを掲げていただいています。今世界中で温暖化が問題になっていますし、国も2050年カーボンニュートラルを目標に掲げていますので、各地域でも脱炭素をしっかりと取り組み、また脱炭素に取り組むことで地域に雇用が生まれたり、地域課題を解決するということがありますから、Win-winでやっていける分野だと思います。

この計画の期間というのが目標年次が2034年度になっています。まさに今、ゼロカーボンは非常に重要ですし、世界中の投資がその分野に集まっていますから、これをやっていくことは非常に重要なのですけれども、実は、これだけでいいのかというような課題もあります。

具体的には生物多様性の保全です。今まさに国際的な課題になっています。国も国家戦略を見直してネイチャーポジティブという世界的な目標、失われていっている生物多様性の環境を向上させる、回復させる、ポジティブに持っていく、それをやっつけていかなければグローバルリスクが続くということで、示されているものがあります。

これについては、国際目標では、30by30（サーティ・バイ・サーティ）というのを掲げられていまして、大体2030年までに生物多様性の保護区を陸域・海域それぞれ30%にしましょうというのが目標です。これがすでに2030年が目標ということで世界が動いてる中、日本の中でそれがどう影響してるかということ、ゼロカーボンを進めるための再生可能エネルギーの施設の設置が、生物多様性の希少な希少種の生息域などを奪っているというような問題も出ています。ゼロカーボンシティは大きな看板だと思いますけれども、ぜひそれ以外の関連する分野でトレードオフになりそうなところをどう考えていくか、特に自然資源というのは宮崎にとっては貴重な地域資源ですので、ここをどのように守りつつ発展していくかというようなことも少し加えていただくのもよろしいかと思いました。

長くなりますがもう1点、同じく目標年次が2034年度ということになりますと、今、世界中が目指しているSDGsが2030年が目標になりますので、ポストSDGsの価値を宮崎市ではどのように捉えて、地域を豊かにしていくってということも少し意識する必要があるかなと感じました。まだ世界的に次が決まっているわけではないのですけれども、大きな候補と言われているのがWell-being（ウェルビーイング）になります。SDGsの価値観の先についても、どこかで意識して、可能であれば加えることができると思うかと思いました。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございます。事務局から何かございますでしょうか。

【企画政策課長（宮崎市）】

ご質問ありがとうございました。

生物多様性につきましては、基本構想の中でも16ページの「課題・背景」のところで挙げておりますとおり、「本市でも、大雨の増加による水害の発生、農作物や動植物に与える影響が懸念されて」いることから、それを踏まえ個別計画で、宮崎市環境基本計画をちょうど今年度見直して新年度からスタートさせることになっておりまして、その大きな柱として捉えて対応していけるよう、個別計画でしっかりそこを位置付けていこうとしているところでございます。具体的にはその中で向き合うことで考えているところでございます。

次に、次期SDGsというようなお話でございますが、今回の基本計画につきましては、基本構想と基本計画の二本立てで、いずれも一応10年計画でございますが、基本計画の部分につきましては、毎年度社会情勢等の変化に対応すべく、見直しをかけることになっておりますので、次期SDGsの動き等々が出てきた際には、そのあたりの内容をしっかりと基本計画の中に落とし込むような形で進めていければと思います。

【淡野会長（宮崎大学）】

勢一委員、よろしいでしょうか。

それでは、他に何かご意見等ございますでしょうか。

【山北委員（公募）】

17ページの4番目「防災体制の構築」のところについてですけれども、これらの記載に加えて、自衛隊や消防との連携の強化が重要だと考えています。

【淡野会長（宮崎大学）】

いかがでしょうか。

【企画政策課長（宮崎市）】

ありがとうございます。

自衛隊、消防等との訓練につきましては、既に定期的にも実施しているところでございます。毎年そのあたりを強化しながら、引き続き進めていければと考えております。基本的には基本計画の中で議論をしていきたいと思っております。

【淡野会長（宮崎大学）】

他にご意見ございませんでしょうか。

【長友委員（公募）】

9ページ「将来の都市像とめざすまちの姿」の「(1) 南国宮崎らしさをいかしながら、「開かれたまち」へ」の下段に、「今後も、南国宮崎のイメージにふさわしい、環境で温かい、開かれたまちづくりを目指します」とありますが、今回の将来の都市像が「挑戦し、成長する 開かれたまち」ですので、今までの宮崎のイメージというものから、新しいイメージに挑戦していただけたらと思います。若い世代など、市民がワクワクしてこのような市政に関して興味を持つための一つの起爆剤になればいいと思っております。

今までの宮崎のイメージそのままではなく、新しいイメージをこれから作っていくために挑戦していただけたらと考えております。

【淡野委員（宮崎大学）】

ぜひ精査いただけたらと思います。他にご意見はよろしいでしょうか。

< 質問、意見なし >

ありがとうございます。それでは、協議事項（1）を終わりたいと思います。

続きまして、協議事項の（2）に移ります。「第六次宮崎市総合計画における基本計画（素案）」について、事務局から説明をお願いします。

【企画政策課長（宮崎市）】

基本計画（素案）につきましては、資料が2つございます。

資料6が概要版、資料7が本編となっておりますが、本日は資料6の概要版を使ってご説明いたします。

それでは、資料6をご覧くださいと思います。

2ページの「目次」をご覧ください。3月の書面協議時点からの追記・修正箇所を黄色網掛けにしております。まず、「第2章」として「人口の推移と将来推計」を追加しております。基本構想（素案）に記載している将来推計人口から、さらに詳細な推計を掲載し、その後続く「第3章」の個別施策の策定、推進の前提としたいと考えております。

次に、これまで「第3章」の政策の一つに位置付けていた「持続可能で開かれた市役所の実現」につきましては、「第4章」として別立てしております。基本構想において、「第3章」として「行財政運営の基本的な方向性」を設定したことに伴いまして、行財政運営に関しましては、基本計画も施策体系とは切り離して別立てする整理をさせていただきたいと考えております。

続きまして、3ページをご覧ください。上から、将来の都市像、その下が「めざすまちの姿」、そして、紺色の矢印以下が基本計画の施策体系でございます。基本計画の施策体系につきましては、本市内部で検討中ございまして、文言の適正化のほか、体系の整理を行っているところでございます。

続きまして、4ページの「第1章 計画体系と横断的な視点」をご覧ください。淡野会長のご意見を踏まえ、「視点2」を「デジタル技術を活用したDXの推進」に表現を改めております。

続きまして、5ページの「第2章 人口の推移と将来推計」をご覧ください。地域協議会からのご意見を踏まえ、人口減少の抑制策として、子育て支援や移住促進などの人口の自然増や社会増につながる取組を行い、人口動態が改善した場合の推計パターンを掲載したいと考えております。

まず、青色「将来推計①」は、基本構想に掲載している、国立社会保

障・人口問題研究所が発表している、いわゆる「社人研仮定値」でございます。次に、赤色「将来推計②」は、人口置換水準つまり、人口の増減が均衡した状態となる合計特殊出生率2.07を2045年に達成した場合でございます。次に、緑色「将来推計③」は、本市の最新の合計特殊出生率である1.45を維持した場合でございます。次に、紫色「将来推計④」は、子どもを望む市民が何人の子どもを希望しているのか、アンケート調査結果をもとにした「希望する出生率」を2045年に達成した場合でございます。次に、水色「将来推計⑤」は、若者の転出超過が、仮にゼロとなった場合の推計でございます。推計パターンについては、どのようなパターンをお示しすることが可能か、今後更なる精査をしてまいりたいと考えております。様々な推計パターンを検討しているところでございますが、やはり高い目標を置きましても、人口減少は避けられない中で、本市が今後10年間の計画期間の中で、どのような施策を展開すべきなのか、まずは庁内での検討を進めたいと考えておりますが、審議会の皆さまからも、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。

続きまして、12ページが政策・重要施策、13ページが基本施策の掲載イメージでございます。今はイメージをお示しておりますが、こちらを作り上げるため庁内検討を始めようとしているところでございます。なお、「基本施策」の市民・事業者・行政の役割の部分につきましては、昨年10月に専門部会分科会にて、議論いただいた内容を基に精査してまいりたいと考えております。

14ページは割愛させていただきまして、15ページをご覧いただきたいと思います。重点プロジェクトにつきましては、本市内部で検討中でございますところ、今回、大枠をお示ししたいと考えております。重点プロジェクトにつきましては、より「人口減少」に焦点を当て、本市が今後注力すべき施策を盛り込んでまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

ただいま、基本構想について説明いただいたところでございます。ご

質問、ご意見等あればお願いいたします。

検討中のところもございます。このような方向で進めていきたいということかと思えます。いかがでしょうか。

【勢一委員（西南学院大学）】

また何度も発言して恐縮でございます。

少し教えていただきたいのですが、第5章のタイトルなのですが、人口減少への対応策に焦点を当てることは、非常によく分かるところですが、ただ、こちらに掲げている案を見ますと、別に人口減少対策に特化した形ではないように見受けられまして、もう少しポジティブな、より暮らしやすい、そして、災害などの備えもあって、レジリエンスも高めるようなことも書いてありますので、何かもう少しポジティブなタイトルがあればと感じてお話を伺っていたのですが、やはりここを強調したい趣旨がございましたら、少し補足していただけるとありがたいです。

よろしく申し上げます。

【宮崎市長（宮崎市）】

人口減少に重点を置いた施策ということでまとめているのですが、どちらが人口減少対策ではないのか、何かご指摘いただければありがたいです。

【勢一委員（西南学院大学）】

15ページの右側が重点プロジェクトになるかと思いますが、経済成長は、別に人口減少対策というわけでないような気はいたします。あとは、女性の活躍は別に人口減少対策というわけではなく、男女とも、性別に関係なく社会の中で活躍するのは、むしろ自己実現であったり、人々のポテンシャルを最大限生かせる社会かと思えます。災害への備えについても、もちろん高齢化によって対応しなければいけない部分があると

ても、やはり災害に強いまちというものは安全基盤として非常に大事ですから、必ずしも人口減少とは関係ないかと思います。また、脱炭素もまさにそうかと思ひまして、もう少しポジティブなイメージで私は捉えたいということでございます。

【宮崎市長（宮崎市）】

ありがとうございます。

重点プロジェクトを検討するに当たって、当初は委員のおっしゃるとおり、もっと分かりやすく、人口減少社会の対策に絞っており、施策ももっと数が少なかったのですけれども、果たしてそこまで振り切っているのかという議論があり、ご意見いただいた災害や脱炭素については後から加わった部分ではございます。また、女性の活躍に関しては、本当におっしゃるとおりで、そもそも人口減少対策のために女性活躍を推進するのかといいますと、全くそうではない視点がありますから、ご意見を踏まえて、この項目に関しては今後検討していきたいと思ひます。

ただ、災害と脱炭素に関しては、必ずしも人口減少対策ではないというところ、果たして災害に弱い、脆弱なまちに人が進むのかなど、そのような視点もございまして、今後も化石燃料に非常に依存したスタイルの産業や輸送体制、交通体系が果たして持続可能なのか、そのようなことも合わせて考えるべきとの意見が庁内でもございましたので、いただいたご意見も踏まえながら、どこまでこれを本当に振り切っていくのか考えていきたいと思ひます。

【淡野会長（宮崎大学）】

他にご意見等ございませんでしょうか。

<質問、意見なし>

それでは、この基本計画について、今ご意見等ございましたけれども、先ほど私から少し申し上げましたように、まだ検討中のところもござい

ます。これから精査しながら、最終的な形に持っていくことになろうかと思えます。基本的には、このような方向性で進めていきたいということで示された案でございますが、基本構想及び基本計画の素案という形で、現状このように進めるということで、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

< 異議なし >

ありがとうございます。それでは、異議なしということで、このような形で承認するという進めさせていただきたいと思えます。事務局においては、基本構想及び基本計画について、本日の議論を踏まえ、今後、さらに精査していきながらよりよいものを作っていくということで、ご尽力いただければと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは次に、次第5に移りたいと思えます。「今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

【企画政策課長（宮崎市）】

それでは、資料9をお開きください。

今後のスケジュールについてご説明いたします。

1 ページをご覧ください。上から審議会、専門部会、市議会、庁内会議の順に会議別でスケジュールをお示ししております。1 番上の審議会のスケジュールをご覧ください。前回3月の書面協議時点では、令和6年10月の議決までのスケジュールをお示ししておりましたが、今回、令和7年3月末までのスケジュールを追記しております。次回の審議会は、7月5日でございます。7月5日の会議では、基本構想部分の答申をいただければと考えております。答申をいただきましたら、3 段目「市民・市議会」に記載しておりますとおり、8 月初旬から中旬の間に議会への説明を行った後、9 月議会に提案を行いたいと考えております。基本計画部分につきましては、庁内検討、それから専門部会でのご協議等を踏まえまして、12月26日の審議会にて素案を示した後、パブリックコメ

ントを実施予定でございます。

審議会の皆さまにおかれましては、お忙しい中、大変恐縮でございますが、今後とも、第六次総合計画の策定に関しまして、ご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、先ほども申し上げましたとおり、次回の審議会は7月5日を予定しております。次回会議の出席につきましても、どうぞよろしくをお願いいたします。

説明は以上でございます。

【淡野会長（宮崎大学）】

ありがとうございました。

今後のスケジュールについて、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

<質問、意見なし>

最後に、会議全体を通して、ご意見等はございませんでしょうか。

<質問、意見なし>

特にないようであれば、以上で、本日の審議の全てを終了させていただきます。委員の皆様方、円滑な会議進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返します。

【総合政策部長（宮崎市）】

淡野会長、ありがとうございました。

委員の皆様には、長時間ご協議をいただきまして誠にありがとうございます。本審議会でのご意見を踏まえまして、今後は、7月の次回の審議会にて基本構想の答申をいただけるよう引き続き庁内での議論や専門

部会での議論を重ねていく予定でございます。

委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます

それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回宮崎市総合計画審議会を終了いたします。